

都立東 高等学校 令和6年度 教科 地歴 科目 日本史

教 科： 地歴 科 目： 日本史 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1・2組：田部） （3・4組：臼井） （5組：田部） （6組：田部） （ 組： ）

使用教科書：（ 詳説日本史 ）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】 日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界との繋がりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したりしたことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	参勤交代と幕藩体制に関する資料から近世の支配のしくみに関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	幕藩体制の成立	【知識技能】 近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、近世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考判断表現力】 近世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	○	○	○	16
	百姓たちの生活世界に関する資料から近世を生きた人々の生活に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。		【主体的に学習に取り組む態度】 近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	幕藩体制の動揺と考えられる事例にはどのようなものがあるだろうかなどの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	幕府衰退と近代への道	【知識技能】 産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 社会・経済のしくみの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	○	○	○	20
	幕藩体制の動揺と考えられる事例にはどのようなものがあるだろうかなどの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	幕府衰退と近代への道 開国と幕末の動乱	【主体的に学ぶ態度】 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	

取っている。 江戸幕府が崩壊する要因や、 明治新政府による諸政策の意 図などについて、諸資料から 適切かつ効果的に読み取り、 理解している。						
定期考査			○	○		1

							1
2 学 期	「明治初期の改革にはどのようなものがあるだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、産業革命の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。	明治維新と富国強兵 立憲国家の成立	【知識技能】 明治維新、文明開化の風潮、学問の発展や教育制度の拡充、自由民権運動などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解している。 【思考力判断力表現力】 アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、欧米の思想・文化の影響、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近現代の地域・日本と世界に関わる諸事象について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	20
	「日清戦争・日露戦争後の国際関係」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	日清・日露戦争と国際関係	【知識技能】 日清戦争・日露戦争後の国際関係などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解している。 【思考力判断力表現力】 アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、欧米の思想・文化の影響、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、欧米の思想・文化の影響、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	○	○	○	
	定期考査						1
	第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 冷戦の開始とサンフランシスコ条約について諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。	占領と改革 冷戦の開始と調和	【知識技能】 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 【思考力判断力表現力】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている	○	○	○	24
	保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。	55年体制	【知識技能】 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 【思考力判断力表現力】 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L.T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	○	○	○	
	日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。	経済復興から高度経済成長へ					

[illegible]

3 学 期	・問題演習を通じて習得した知識・ 技能や思考・判断・表現力を統合さ せる。	・入試問題演習	【知識及び技能】 既習事項について構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 諸資料から必要な事項を読み取り、既習事 項に関連づけながら思考し判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習を通じ自身の学習について振り返り調 整しようとしている。	○	○	○	9
							合計
							93